

日本女子大学文学部学術交流企画主催 機能語用例データベース「はごろも」共催
公開シンポジウム「コーパスを使った類義表現・多義語の研究」
2018.12.22 日本女子大学 目白キャンパス 八十年館851教室

話し言葉における「あれ」の用法 —母語話者と学習者のコーパスによる比較—

山崎 誠(国立国語研究所)

目次

- 1 はじめに
- 2 コーパスにおける「あれ」の使用頻度
- 3 データ・方法
- 4 結果
 - 4.1 日本語母語話者と日本語学習者との用法の違い
 - 4.2 後続語の違い
- 5 まとめと今後の課題

1 はじめに

指示代名詞「あれ」

- 日本語における基本語のひとつ
- 他の指示代名詞「これ」「それ」と並んで日本語教育では早い段階で習得
- 『みんなの日本語』
- 初級1の第2課:「あれはだれのかばんですか」
- 『日本語初級1大地』
- 第2課:「あれはパソコンです。」
- いずれも現場指示の用法

国語辞典の記述

- 『新明解国語辞典第七版』 より引用
- ①話し手・聞き手から離れて存在し、両者が共に認め得る事物自体を指す語。「－は何だろう／－を見てごらん／－ [=あそこに見えるの] が国立劇場だ／－ [=あそこ] に見えるは」
- ②すでに話題になるなどして、話し手・聞き手が共に意識している事柄を指す語。「－ [=あの件] はその後どうなりましたか／－ [=あの問題] を先に片づけてしまおう／山田君は－ [=君も知っている通りの状態] で意外にしっかりしているんだよ」⇒ これ・それ・どれ:こそあど
- ③はっきり口にしたくないこと、ちょっと忘れたこと、うまく言えないことなどの代りに用いる語。「今ごろ申し上げるなんて－ [=a恥ずかしい。b申し訳ない] ですが／代金は－でしたら [=都合が悪かったら] 後でも構いません」

国語辞典の記述

- 『新明解国語辞典第七版』 より引用
- ④[「ー...これ...」の形で]一つに限ることなく、いろいろの物や事柄に及ぶことを表わす。「ーが欲しいこれが欲しいと、だだをこねる／ーもしなければ、これもしなければと考えるだけで頭が痛くなる」⇒ あれこれ・あれやこれや
- 他の国語辞書もほぼ同様

日本語記述文法研究会(2009)

- 現場文脈指示
 - 発話の現場の状況が参照される。
 - 指示対象は話し手がその場で見たり聞いたり感じたりできる。
- 言語文脈指示
 - 談話の中の言語化された部分が参照される。
 - 言語文脈には前方照応と後方照応がある。
- 記憶文脈指示
 - 話し手や聞き手の長期の記憶が参照される。
 - 聞き手も知っている場合が多いが、話し手しか知らない場合もある。

後方照応

- (前略)後方照応もまれに用いられることがあり, (中略)。後方照応では, コ系が選ばれることが多く, ソ系はまれである。
- これは有名な話だが, アインシュタインは学校の成績はまるでだめだった。
- いつもそうじゃないんだけど, 今日はちょっと飲まずにいられない気持ちだ。
(上掲書 pp.30-31)

記憶文脈指示

- {あの人／あいつ}は本当に変わり者だったね。(人)
- {あのうどん／あれ}は実にうまかった。(もの)
- 話し手が指示対象の名称を思い出せず、聞き手がその指示対象について知っていると思われるときには、ア系の指示表現が用いられる。
- [友人に]ほら、あの人、名前、何だっけ？ あの人だよ、あの人。(下略)
(上掲書 pp.34-35)

「あれ」の用法

- ①話し手・聞き手から離れて存在し、両者が共に認め得る事物自体を指す語。
→現場文脈指示
- ②すでに話題になるなどして、話し手・聞き手が共に意識している事柄を指す語。
→言語文脈指示
- ③はっきり口にしたくないこと、ちょっと忘れたこと、うまく言えないことなどの代りに用いる語。
→記憶文脈指示
- ④[「ー...これ...」の形で]一つに限ることなく、いろいろの物や事柄に及ぶことを表わす。
→慣用表現

2 コーパスにおける「あれ」の使用頻度

「あれ」は話し言葉で多く使われる

コーパス	粗頻度	相対頻度 (PMW)
現代日本語書き言葉均衡コーパス	12,413	118.3
日本語話し言葉コーパス・学会講演	228	69.1
日本語話し言葉コーパス・模擬講演	1,032	283.8
日本語話し言葉コーパス・対話	113	750.8
名大会話コーパス	2,438	2,153.8
職場談話コーパス	410	2,193.6
日本語日常会話コーパス(モニター公開版)	1,657	2,712.1
多言語母語話者の日本語学習者コーパス・対話	479	299.9
BTSJ日本語自然会話コーパス(トランスクリプト・音声)2018年版	1,574	1,705.9

書き言葉における「あれ」

- 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の各レジスターにおける代名詞「あれ」の頻度

レジスター	粗頻度	総語数	相対頻度 (PMW)
特定目的・法律	0	1,079,146	0.00
特定目的・白書	4	4,882,812	0.82
特定目的・広報誌	16	3,755,161	4.26
特定目的・教科書	24	928,447	25.85
出版・新聞	44	1,370,233	32.11
出版・雑誌	376	4,444,492	84.60
出版・書籍	2799	28,552,283	98.03
特定目的・国会会議録	524	5,102,469	102.70
図書館・書籍	4473	30,377,863	147.25
特定目的・ブログ	1610	10,194,143	157.93
特定目的・韻文	36	225,273	159.81
特定目的・知恵袋	1717	10,256,877	167.40
特定目的・ベストセラー	790	3,742,261	211.10

3 データ・方法

使用するコーパス

- (a) 日本語話し言葉コーパスの学会講演 (CSJ_APS)
 - (b) 日本語話し言葉コーパスの模擬講演 (CSJ_SPS7)
 - (c) 『名大会話コーパス』(名大, NUC)
 - (d) 多言語母語話者の日本語学習者コーパス・日本語学習者の対話 (I-JAS)
-
- 検索ツール「中納言」を使い, 語彙素「彼れ」で検索し, ヒットした結果からランダムに200件を選び, それらに対して上述の①～④の用法を付与した。

用法の認定方法

- ①現場文脈指示
- 現場文脈指示の用法を引用したもの(=(1))も含む。
- (1) 当時は友達が持っていたテレビアニメのキャラクターだが付いた既製品が本当に羨ましく眩しく見えてああたしもあれが欲しいとかあれを買ってほしいという風に何度も何度もねだった覚えがあります(CSJ模擬講演, 講演ID: S11F1157, 開始位置: 12500)

用法の認定方法

- ②言語文脈指示と③記憶文脈指示との区別は曖昧になる可能性がある。
- 「あれ」の前後文脈に、その指示対象ないしは指示対象とみなすことのできる言語表現が現れていれば、②言語文脈指示とし、そうでなければ③とした。
- 例文(2)(3)は後文脈に指示対象が現れているとみなし、言語文脈指示とする。
- (2) #それからまエービEBMというのはその一あれですね#根拠に基づいた医学エビデンスベーストメディスンですね(CSJ_APS, A07M0185, 8630)
- (3) #このドアもちょっと固め。#ああ、あの、固めって、雨が降って湿気あると下が、あのあれじゃない、膨れるんじゃない、それ。(NUC, data118, 3370)

「あれ」の後方照応

- 例文(2)(3)のような、前置きの用法については、堀口(1997:104-105)に「すぐ後でくわしく言うつもりモノやコトの代用」という指摘がある。

用法の認定方法

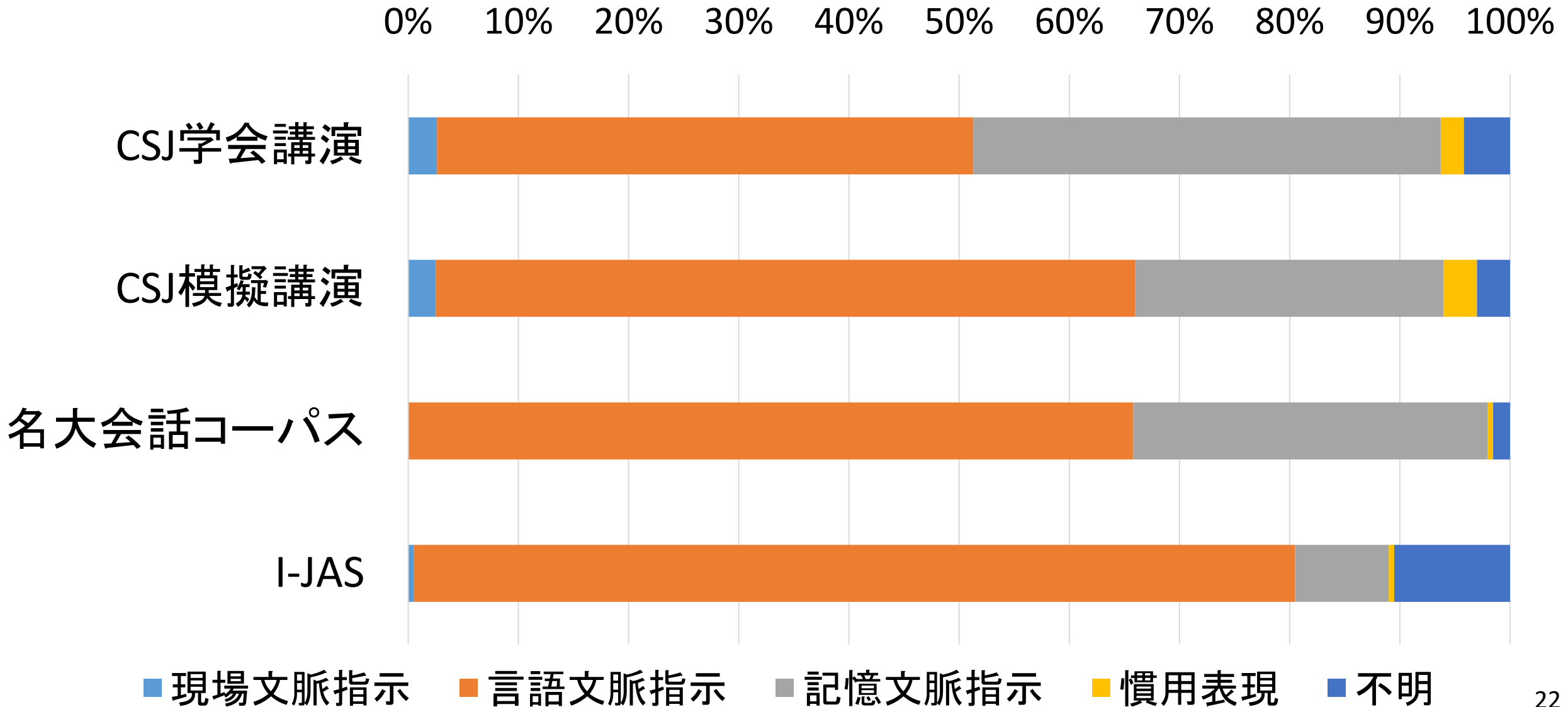
- (4)のように、前文脈をさらにたどれば、指示対象が現れるのかもしれないが、前文脈300語までに指示対象が現れなければ③記憶文脈指示とした。
-
- (4)#でもう一つですね行って感じたのは空気が奇麗だっていうことです#川崎の空気と比較しますと全然違います#まーまたさっきのあれじゃないですが#プラネタリウムで星星って言ってましたけども#実は星が奇麗に見えるんです#東京よりはですよ#川崎よりは見えるんです#(CSJ模擬講演, 講演ID:S03M1133, 開始位置:15540)

4 結果

各コーパスにおける「あれ」の用法の分布

用法	CSJ学会講演		CSJ模擬講演		名大会話コーパス		I-JAS	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
現場文脈指示	5	(2.6%)	5	(2.5%)	0	(0%)	1	(0.5%)
言語文脈指示	93	(48.7%)	127	(63.5%)	129	(65.8%)	160	(80.0%)
記憶文脈指示	81	(42.4%)	56	(28%)	63	(32.1%)	17	(8.5%)
慣用表現	4	(2.1%)	6	(3%)	1	(0.5%)	1	(0.5%)
不明	8	(4.2%)	6	(3%)	3	(1.5%)	21	(10.5%)
除外	9		-		4			
計	200	(100.0%)	200	(100.0%)	200	(100.0%)	200	(100.0%)

各コーパスにおける「あれ」の用法の分布



用法の分布(概観)

- いずれのコーパスでも②言語文脈指示, ③記憶文脈指示の2つの用法で全体の大半を占める。
- ①現場文脈指示はほとんど用いられていない。

4.1 日本語母語話者と日本語学習者との用法の違い

- 日本語学習者の言語文脈指示の用法が日本語母語話者よりも多い。
- ただし、「それ」との混同と思われるものが目立つ。
- (5) <C>(中略)日本のまあ、本とか、読みますか？#<K>に一最近読み、読むようになったんです、前は全然読まなかったんです<C><うん><K>、意味は全然通じなかったんです<C><うんうんうん><K>、はい、で何できょうい子供の教育を、の本を読みましたかとゆうと、あれは内容はちょっとわかりやすいから、短いだからちょっと<ふーん>、わかりやすいから、はい最初#<C>なるほどねーそれじゃ<はい>、(後略)(I-JAS, JJE15-I, 340)

日本語学習者の言語文脈指示

- 日本語学習者の言語文脈指示の用法が日本語母語話者よりも多い。
- ただし、「それ」との混同と思われるものが目立つ。
- (6) #<C>えーとー、将来住むとしたらー、都会がいいですか、田舎がいいですか#<K>うーん、やはり自分でー、暮らしてみたいので、<C><うん><K>やっ、都会とー、<C><うん><K>田舎ですか#<C>うんうん#<K>つとー、あれは別にー、かまい、構わないと<うん>と思いますが#<C>うん#<K>はい#<C>うん、どっちがいいですか？#<K>えー、やーえーとー、バイクやー、<うん>車を、<うん>運転できませんのでー、<うん>やはりー、都会かな#(I-JAS, CCT54-I, 4620)

日本語学習者の言語文脈指示

- 言語文脈指示の用法では、母語話者は、前述の(2)(3)のような前置きのな後方照応を用いることがあるが、日本語学習者はそれをほとんど用いていない。
- 日本語学習者の後方照応で多いのは以下の(7)(8)のように、「あれは何だっけ」「あれは何だろう」のように自問しているような用法である。
- (7)<C>、とかー、何かそうゆう怖かった、経験ありますか#<K>うーん、たぶん小学校のー、六年生の時かなー#<C>うんうんうん#<K>あの一、あの時の先生はー、すぐー、なんかー、怖かった人です#<C>うんうんうんうん#<K>いつも暴力でー、あの一、学生と、なんか、例えばね、うーん、とも、友達は一、あの一、宿題をしない？#<C>うん#<K>そしてー、先生はー、すぐー、あー、なん、**あれ**は何だっけー、お、怒る？#<C>うん#<K>すごく怒ります、ん#<C>うん#<K>あー、怒りましたー#<C>うん#(I-JAS, CCT60-I, 6460)

日本語学習者の言語文脈指示

- (8) <C> (中略) えーと将来、えーと住むとしたら、都会がいいですか、それとも田舎がいいですか # <K> いー今は、い、今は、<C> <うん> <K> えーと、今、うちに、住んでいるところは <C> <うん> <K> 今、田舎みたいですが、実際はあの一、なんか、何て言うんですか、えー、え、えな、えんがーてい、エヌアーティー # <C> うんうん # <K> そうゆう <C> <うんうん> <K>、えーと、台中今も、<C> <うんうん> <K> なん、こ、ん、あれは何だろう、エヌアーティー、んあ、今、新幹線とか # <C> うん新幹線、うんうん # <K> はいそう、今は <うん> あの、作っています <うんうん> はい、たぶん、だんだん都会になって (後略) (I-JAS, CCT37-I, 2760)

日本語学習者の記憶文脈指示

- 記憶文脈指示の用法では、「はっきり口にしたくないこと、ちょっと忘れたこと、うまく言えないことなどの代りに用いる」(「新明解国語辞典第七版」より)の用法が母語話者では比較的よく使われているが学習者では使用割合が少ない。次の(9)(10)は日本語母語話者の例である。
- (9) コントラストティブアクセントが置かれている場合というのがあるという風に言っています#でこちらですと#ちょっとゆあのあれなんです#エソエギネツドツホという風にやはりドツホにまあくまでもまアクセントは置かれている訳なんです#(CSJ-APS, A05F0236, 17730)

日本語学習者の記憶文脈指示

- (10) であの家族とあんまりいっぱい旅行に行く機会がないもんですからあの一の子供長女と次女とそれから主人とその三人を連れていきたい#三つって言ったらあれなんですけど#三人を連れていけたらなと思いました#(CSJ-SPS,S07F1336, 2100)

日本語学習者の記憶文脈指示

- <K>その中で一番お姉さんだったんですね<C><はい><K>私は、で、なんか{笑}子供達が誤っても私が叱られたり<C><うん><K>そういうのが子供としては<C><はい><K>少し、のーちょっと**あれ**じゃないですかー、で#<C>そうですよね#<K>まあそれを私は、まあ悪いことしてないのに<うんうんうん>(以下略)(I-JAS, KKD28-I, 2080)

4.2 後続語の違い

- 学習者は「は」に偏る傾向がある。

順位	名大会話コーパス		I-JAS	
	後続語	頻度	後続語	頻度
1	は	27	は	76
2	が	25	も	15
3	だ	19	が	14
4	、	13	を	10
5	って	12	から	7
6	です	10	で	7
7	で	9	、	6
8	を	8	はー	5
9	な	6	何	5
			です	5

5 まとめと今後の課題

まとめ

- 指示代名詞「あれ」の用法の分布を話し言葉コーパスについて概観した。
- また、「あれ」の用法について日本語母語話者と日本語学習者との比較を行った。
- 『CSJ学会講演』『CSJ模擬講演』『名大会話コーパス』『多言語母語話者の日本語学習者コーパス・対話』の観察結果からは、話し言葉における代名詞「あれ」は、言語文脈指示と記憶文脈指示の2用法が中心であり、現場文脈指示がほとんどなかった。
- 日本語母語話者と日本語学習者との比較では、指示対象が文脈中になく用法（明示的な言い方を避ける婉曲的な用法）や指示対象が直後の後文脈に現れ、いわば前置きの使われている用法が日本語母語話者に比べて少ないことが分かった。また、後続語にも違いが見られた。

今後の課題

- 前文脈にどのような語句が現れるか
 - 書き言葉における用法との比較
 - 用法の歴史的な経緯
-
- 話し言葉における代名詞「あれ」の相対頻度の高さは、『日本語歴史コーパス』(CHJ)の明治・大正期のデータにも認められる。

『日本語歴史コーパス』(CHJ)明治・大正期における代名詞「あれ」

文種	粗頻度	相対頻度(PMW)
口語・会話文	697	797.35
口語・地の文ほか	434	83.13

付記

- 本稿は、山崎(2018)の発表に加筆修正したものである。

参考文献

- 国立国語研究所(2006)国立国語研究所報告124『日本語話し言葉コーパスの構築法』
- 迫田久美子(編)(2016)『海外連携による日本語学習者コーパスの構築—研究と構築の有機的な繋がりに基づいて—I-JAS構築に関する最終報告書』
- 日本語記述文法研究会(2009)『現代日本語記述文法7 第12部談話 第13部 待遇表現』くろしお出版
- 堀口純子(1997)『日本語教育と会話分析』くろしお出版
- 山崎誠(2018)話し言葉における代名詞「あれ」の用法の分布, 言語資源活用ワークショップ2018

- ご清聴ありがとうございます。